
0 から始める小説の書き方徹底講座！

N.M.ぺんくらぶ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

0 から始める小説の書き方徹底講座！

【Nコード】

N3716BA

【作者名】

N・M・ぺんくらぶ

【あらすじ】

「小説を書きたい」あなたへ捧げる執筆技術向上講座です。想像を膨らませて物語を考えるのはとても楽しいことです。それを他者へ伝えるにはちょっとした技術が必要です。表現したいことが伝わらなくて面白くないと判断されるのはもったいないですよ。もっと評価されたい、新人賞を取りたい、趣味として執筆技術を向上させたい。そんなあなたにぴったりの小説の書き方がわかるエッセイです。講座だからと気負う必要はありません。お気軽に入り登録した小説を読むような感覚で、ちょっとした時間を利

用して驚くほど執筆技術を向上させてしまいましたよ！

はじめに

いらっしやいませ！

このサイトには多くの読者と作者がいるわけですが、その中には「小説は難しい」と感じている方がいるかもしれません。確かに音楽・映画・漫画・アニメと数多く存在する娯楽の中から小説を選ぶ人は少ないようです。

逆説的に考えれば小説を楽しむの一つにしている「あなた」は、受動的に楽しめる娯楽では飽き足らず能動的な選択をしたのでしょう。さらに突き詰めれば少なくともこのエッセイを開いた方は「読むこと」だけでなく「書くこと」にも興味を抱いる可能性があります。

ここではそういう「書いてみたいけど、よくわからない」や「なんとなく書いてみたものの、この先どうすればいいんだろう」という方を対象にした「小説の書き方」を解説していこうと考えています。難しく考える必要はありません。お気に入り登録した小説を読むような感覚で、ちよつとした時間を利用して目を通してください。

一例ですが小説を書くとは想像力を創造力に変えることです。しかしこれがなかなか厄介で、慣れるまでは頭の中で考えたことを上手く表現できません。つまり物語を考えることは決して難しくありませんが、それを他者へ伝えるにはちよつとした技術が必要になります。表現したいことが伝わらなくて面白くないと判断されるのはもったいないですよな？

私にもそういう時期がありました。悔しい思いをしたことも一度や二度ではありません。しかし技術力を高めていった甲斐もあって、

ライトノベル系の新人賞で末席に加えて頂くまでに至りました。誰からも支持される物語の構築方法を教えることはできませんが、物語を伝えるための技術や表現方法は培った経験からお話することができます。これから綴るエッセイは私個人だけでなく、同じく受賞経験者のMさんが共同しているため、主観と客観を踏まえた記事を掲載していけると自負しています。興味のある項目だけ読んで頂いても構いませんし、気になる点を直接質問して頂いても構いません。小説家になろうで活躍したい方もそうでない方も、プロ志向の方もそうでない方も、小説技術向上に興味がありましたらお付き合いくださいませ。

また小説家になろうで評価を得難い良作を紹介していければと考えています。これは「VRMMO」や「異世界転生（トリップ含む）」の圧倒的なアクセス数に飲み込まれた作品が多いと感じたからにほかなりません。こちらは「流行以外の良作を読んでみたいけど探すのは大変」という方の手助けになれば幸いです。 N

はじめまして。 N氏と共同でエッセイを書かせて頂きますMと申します。

なるべく多くの方に役立つ記事を書けるように心がけてゆきますので、どうぞ末長くお付き合いください。 M

メモのすゝめ

「あつ！ 今カッコイイ台詞を思いついた！ 家に帰ったら早速小説に書き加えよう！」

帰宅後

「忘れた……」

こんなことにならないように、普段から思いついたその場でメモを取る習慣を身につけましょう。

小説のアイデアはところかまわず、いつ湧き出てくるものかわかりません。

学校でも、職場でも、トイレの中でもお風呂でも。小説について考えている限り、ところ構わず浮かんできます。

逆に言えば、どんなところでも小説のことを考えてしまう。それが創作者の宿命なのかもしれません。

ちなみに私は犬の散歩中によく浮かんでくるので、執筆中も家の中でウロウロ歩き回っていることが多々あります。

サッカーのリフティングをしながらだと推理が捗るというコナン君と同じ要領ですね。

こんなふうには何か別のことをしながら考えるのは、実は結構オススメです。なぜこれで捗るのかは謎です。

メモは手書きでも携帯電話のメール保存でも、ボイスレコーダーへの吹き込みでも構いません。

小説の内容に役立ちそうなことを思いついたら、たとえ恋人との初デート中でも迷わず入力保存してしまいましょう。

・執筆中の物語の設定変更案

- ・より面白い展開になる改稿案
- ・今後書く予定のシーンの流れ
- ・キャラの印象的な台詞
- ・プロットの種（ネタ・アイデア）

特に書いておくと役立つのはこの辺りでしょう。

本文執筆直前やプロット作成の前にこのメモを読んでおくと、驚くほど作業効率が上がることがあります。

基本的に執筆は「イメージ 文章化」の流れなので、イメージする手間が省けるのです。

また長時間の執筆により疲れた頭で考えるより、リラックスした状態の方が読者目線で物語を追うことができます。より面白く、より破綻のない方向に物語を動かすことができるという点で、先にメモを取っておくのは大いに有効です。

あとで取りためたメモを見て、そのいい加減さに自分で爆笑するという上級者的な使い方もできオススメです。

注意！

メモを取るのには良い事ですが、夢で見た内容をメモに取る際は注意しましょう。

私も普段感動的な夢を見たり、夢の中で異世界を経験したりすると、その内容を小説にしてみたいことがよくあります。

しかし夢の中の自分は軽い催眠状態に陥っており、単純なことも感情的になってしまいがち。

目覚めた直後はまだいいのですが、数日後に見返すと「意味不明」「支離滅裂」がこれほど似合う走り書きは他にない……。 「ベタ過ぎ」「狙い過ぎ」も見事に当てはまる印象です。

夢で見たアイデアを小説にする際は、ちゃんと小説として他者に通用する内容であるかどうかを吟味しなければいけませんね。 M

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、たんのう堪能してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n3716ba/>

0から始める小説の書き方徹底講座！

2012年1月10日15時55分発行